



スピリチュアルケアと メンタルケア ー揺れ動く社会の中で

全国精神保健福祉連絡協議会は、昭和38(1963)年に、全国精神衛生連絡協議会の名称で発足しました。この協議会は、各都道府県等の精神保健福祉協会で構成され、これらの連絡を図るとともに、精神保健福祉の普及啓発に資することを目的として活動を行っています。

精神疾患による受療者数が増えつづける今日、また大規模災害がいつ起こるかわからない今日、スピリチュアルケアとメンタルケアの連携はますます重要になっています。このことを踏まえ、令和5年度総会では、スピリチュアルケアとメンタルケアの連携に向けての対話の場をもつことにいたしました。どなたでも視聴できます。どうぞご参加ください。

Spiritual



Mental

令和5年

7月19日(水) 17:00-20:00

Zoom ウェビナー

申込締切

7月10日(月)



主催：一般社団法人 全国精神保健福祉連絡協議会
協力：一般社団法人 TICC(こころのケガを癒やすコミュニティ事業)

申込はこちら

スピリチュアルケアとメンタルケア —揺れ動く社会の中で

17:00 ▶ 開会のあいさつ・進行説明

竹島 正 一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会会長 / 川崎市総合リハビリテーション推進センター所長

17:10 ▶ 講演：スピリチュアルケアとは何か、 メンタルケアとの連携

島蘭 進 東京大学名誉教授 / 大正大学客員教授

1948年生まれ。宗教学、近代日本宗教史、死生学。1972年東京大学文学部宗教学・宗教史学科卒業、1977年東京大学大学院博士課程単位取得退学。東京大学名誉教授、大正大学客員教授。世界平和アピール七人委員会委員。宗教者災害支援連絡会代表。著書『国家神道と日本人』（岩波新書、2010年）『新宗教を問う——近代日本人と救いの信仰』（ちくま新書、2020年）『戦後日本と国家神道——天皇崇敬をめぐる宗教と政治』（岩波書店、2021年）『いまを生きるための宗教学』（共編著、丸善出版、2022年）『日本仏教の社会倫理—正法を生きる』（岩波現代文庫、2022年）ほか

18:10 ▶ 休憩

18:20 ▶ 対談1：スピリチュアルケアとメンタルケア —宗教学の視点、精神医学の視点

島蘭 進

神庭重信 九州大学名誉教授 / 慶應義塾大学医学部客員教授

1954年生まれ。精神医学。1980年慶應義塾大学医学部卒業、1990年医学博士。九州大学名誉教授、慶應義塾大学医学部客員教授。日本医学会連合・監事 / 日本医学会・幹事、内閣府健康医療戦略推進専門委員会委員。（社医）栗山会飯田病院臨床研修センター長、（一社）日本うつ病センター理事長。著書『こころと体の対話 精神免疫学の世界』（文春新書、1999年）、『思索と想い 精神医学の小径』（慶應義塾大学出版会、2014年）、『うつ病の論理と臨床』（弘文堂、2014年）、『思量と願い 精神医学の風景』（九州大学出版会、2019年）ほか

19:00 ▶ 私たちの思うこと—講演と対談1をもとに 宗教社会学の立場から

高瀬顕功 大正大学社会共生学部公共政策学科 / 地域構想研究所専任講師

トラウマインフォームドケアの立場から

大岡由佳 武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科准教授 / 一般社団法人 TICC（こころのケガを癒やすコミュニティ事業）

19:20 ▶ 対談2：スピリチュアルケアとメンタルケア —揺れ動く社会の中で 島蘭 進、神庭重信

20:00 ▶ 閉会のあいさつ

竹島 正



一般社団法人

全国精神保健福祉連絡協議会